

警 察 署 協 議 会 会 議 録

城南警察署協議会

開催年月日時	令和6年6月24日 午後4時00分 から 令和6年6月24日 午後5時10分 まで	
開催場所	城南警察署4階 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下 7名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、総務第二係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 城南警察署協議会も新しい体制になった。今後もよりよい街を作るために皆様と協力してやっていきたいと思っているので、よろしく願います。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平素から警察活動の各般にわたり、ご理解とご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。 ○ 新たに2人の方を警察署協議会委員としてお迎えできることを心よりうれしく思っている。 <p>〈管内の治安情勢について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪発生状況は、5月末現在343件と若干増加しているが、昨年と同程度で推移している。 ○ 交通事故発生状況は、5月末現在103件と昨年よりマイナス傾向で推移しているが、6月7日城南区長尾1丁目において本年2件目の交通死亡事故が発生している。 ○ 城南署の最大の治安課題はニセ電話詐欺被害の激増で、SNS型投資詐欺を含む被害は25件発生し、被害額はすでに2億円を超え、昨年と比べて約1億9千万円増加している。 ○ 被害にあわない為の広報の強化として、5月9日には城南区ニセ電話詐欺等被害防止緊急対策会議を開催しており、今後も関係機関の皆様と連携した対策を引き続き強化する。 		

議 事 概 要

- 福岡県も梅雨時期に入ったが、昨年から過去5年間で50年に1度と言われる特別警報が4回も出されている。災害は忘れたころにやってくるは死語となり、災害は毎年やってくるとの認識で対応しなければならないと考えている。
- 今回の協議会では、生活安全課長から「ニセ電話詐欺の現状と対策」について、警備課長から「災害対策」について、報告させていただく。
- 本日は、城南区内の治安課題等につきまして、お気づきになられた点があれば忌憚のないご意見を願います。
- 今後も署員一人一人が警察の責務を果たすため、最大限の努力をしていく所存であるので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いする。

【自己紹介】

- 城南警察署協議会委員
- 城南警察署幹部

【報告事項】

- 1 ニセ電話詐欺の現状と対策について(生活安全課長)
 - (1) 令和6年福岡県内・城南署被害状況について
 - (2) ニセ電話詐欺の手口について
 - (3) ニセ電話詐欺の被害防止に向けた取組について
 - (4) SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の手口について

- 2 災害対策について(警備課長)
 - (1) 自助、共助、公助について
 - (2) 災害危険箇所の実態把握について
 - (3) 災害資機材点検、習熟訓練状況について
 - (4) 大規模災害に備えた信号復旧訓練について

【質疑・意見・要望等】

- 委員から「ニセ電話詐欺の検挙率・弁済される割合を教えてください。」旨の質疑があり、生活安全課長から「検挙率や検挙件数は現時点で回答できない。被害回復については、非常に困難である。」旨の回答があった。
- 委員から「報告されたニセ電話詐欺の発生状況にフィッシング詐欺の件数

議 事 概 要

は含まれているのか。フィッシング詐欺はSNSの広告を利用している場合が多く、学生が騙されることが多いのではないか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「ニセ電話詐欺の発生件数にフィッシング詐欺は含まれていない。SNS上で大手の広告を模倣して欺罔する手口が多く、学生からの相談も一定数ある。」旨の回答があった。

- 委員から「SNS関連の犯罪で警察が出来ることは限られているので、一番抑止効果があるのは情報提供ではないかと思う。自分は被害に遭わない、関係ないと思っている人が多いので、もっと具体的な犯行手口等を発信していくべきではないか。被害を届け出ていない人も多いと思われるので、情報収集のためにも泣き寝入りせず被害申告するように発信することも大切ではないか。」旨の発言があった。署長から「先日の心理学の先生による講話では、騙される人は自分は絶対に騙されないと考えている人が多いとのことである。情報提供に関しては、被害が出た場合は必ず福岡県警のふっけい安心メールで具体的な手口と併せて公表しており、城南警察署ホームページでも同様の内容を公開している。地道に広報しているが、引き続き対策を取っていく。」旨の回答があった。
- 委員から「SNS型投資・ロマンス詐欺について、なぜ犯人と信頼関係が生まれるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「異性等の人が興味を引く架空の写真を使用して信頼関係を築いている。」旨の回答があった
- 委員から「ロマンス詐欺にマッチングアプリによる詐欺は含まれているのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「マッチングアプリによる詐欺は通常の詐欺事件で取り扱っている。」旨の回答があった。
- 委員から「青パト巡回のマイク広報内容にニセ電話詐欺抑止に向けたアナウンスを加えたい。」旨の発言があった。署長から「あらゆる媒体を介して広報を行いたいと考えているので、広報内容等相談させていただきたい。」旨の回答があった。